

光触媒で衛生管理

トラックの荷室



荷室に光触媒を塗布した2トトラックで学校給食を搬送する(御殿場市)

運送業のサンライン(御殿場市、橘哲夫社長)は、光触媒を活用して荷室の衛生を保つ輸送トラックを導入した。6月までに学校給食や介護施設用の使用済みシートなどを搬送する専用トラックとして計11台を稼働させる。集団食中毒の発生などで衛生管理に注目が集まる中、従来の消毒方法より効力が高い光触媒を採用し、荷室の獲得につなげる。

サンラインと栄和自動車 給食や介護施設向け

トラックなどの荷室に光触媒塗料を塗布して衛生状態を保つシステムを開発した栄和自動車(沼津市、飯田武社長)と連携した。光触媒は紫外線などの光に当たると反応し、汚れやにおい、菌などの有機物を分解する働きを持つ。また温度にかかわらず一定の効果を発揮することから、荷室の全面に光触媒塗料を塗り、紫外線を発する特殊照明を荷室の天井の角に装着した。

トラックなどの荷室に光触媒塗料を塗布して衛生状態を保つシステムを開発した栄和自動車(沼津市、飯田武社長)と連携した。光触媒は紫外線などの光に当たると反応し、汚れやにおい、菌などの有機物を分解する働きを持つ。また温度にかかわらず一定の効果を発揮することから、荷室の全面に光触媒塗料を塗り、紫外線を発する特殊照明を荷室の天井の角に装着した。

また、光触媒には調理済み食品などの搬送後、荷室に残るにおいを除去する働きがあるほか、薬剤による洗浄も不要となるため、荷室への商品の入れ替え作業の短縮化や搬送効率の改善にもつながる。

荷室の衛生管理手法としては、内装材に抗菌パネルを使用する方法もある。ただ、光触媒塗料を利用した場合の導入コストは2トトラックで1台当たり40万円程度で、抗菌パネルに比較して5分の1程度で済む。

サンラインは6月までに、沼津市内の学校に給食を運ぶ2トトラック9台と、介護施設の使用済みシートを搬送する3ト

を利用すれば、これらの細菌を分解処理できるほか、耐性菌の発生も防げるとしている。

また、光触媒には調理済み食品などの搬送後、荷室に残るにおいを除去する働きがあるほか、薬剤による洗浄も不要となるため、荷室への商品の入れ替え作業の短縮化や搬送効率の改善にもつながる。

トラック2台に光触媒塗料を塗って稼働させる。橘賢司副社長は「最近では食中毒のニュースが相次ぎ、消費者の衛生面への関心が高まっている。

光触媒の活用で輸送段階での衛生管理の徹底をアピールすることで、同業他社との違いを打ち出したい」と話す。